



**こどもカッオマイスター検定**  
 ■第8回枕崎こどもカッオマイスター検定が、2月24日に地場センター等で行われました。市内の児童66名が参加し、カッオのわら焼きや鯉節削りなどの実技試験と筆記試験に挑戦しました。



**被災地へ復興の願いを込めて**  
 ■東日本大震災から7年を迎えた3月11日、「ストリートピアノでつなぐ祈りのハーモニー」がお魚センターで開催されました。参加者は黙とうを捧げた後、復興への願いを込めて「ふるさと」などを歌いました。



**さわやかウォーキング**  
 ■3月11日に開催され、約130名が参加しました。参加者は、約3キロと6キロのコースに分かれ、それぞれのペースで市内の景色を楽しみながら、さわやかな汗を流しました。



**火之神公園一帯をボランティア清掃**  
 ■3月31日、まくらざきハーモニーネットワーク委員会の会員などによる、恒例の火之神公園一帯のボランティア清掃が行われ、たくさんのゴミが収集されました。



**100歳おめでとうございます**  
 ~倭積田サヲさん(別府東町)

倭積田サヲさんが3月12日、めでたく100歳の誕生日を迎え、市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。倭積田さんは枕崎で生まれ育ち、若いときは大阪の紡績工場で働いていました。結婚後は、夫婦で主にサツマイモの栽培をしていたそうです。83歳頃までは耕運機を運転するほど元気に働いていたそうです。長寿の秘訣は「90歳頃まで続けていたラジオ体操や青竹踏み、茶節をよく飲んでいたこと」と話します。これからも元気で長生きしてください。



**枕崎の海の幸・山の幸が集結**  
 ~まくらざき春の市

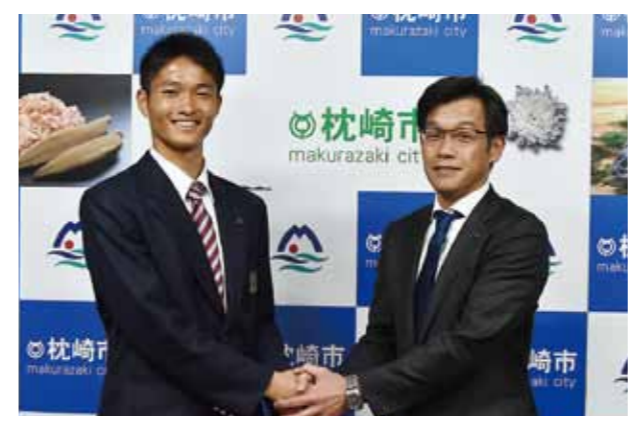
「まくらざき春の市」が3月18日、枕崎漁港内港水揚げ場で開催され、市内外から多くの人出でにぎわいました。会場には南薩の特産品販売を中心に多くの店が並び、枕崎鯉船人めしや鹿水高ラーメンなどのグルメの出品もありました。また、市内小学校6年生卒業記念イベントの「ロング海苔巻きに挑戦」が行われたほか、ダンスや白バイの公開模範演技の披露がありました。さらに会場内には、枕崎を日本一安全・安心なまちにするため戦国の世からよみがえってきた、戦国武将の鯉武士「枕警(まっけい)」も枕崎警察署の宮原伸公署長手作りのよるいかぶとを身に付け登場し、まつりを盛り上げました。



▲会場に参上した「枕警」

**生駒仁選手が入団を報告**  
 ~サッカーJ1横浜F・マリノスに入団

本市出身で、サッカーJ1リーグの横浜F・マリノスに入団した生駒仁選手が、2月28日に枕崎市役所を訪れ、前田祝成市長に入団の報告をしました。生駒選手は「1年目から少しでも試合に出られるように頑張りたいです。東京オリンピック世代でもあるので、代表を目指して頑張っていきたいと思っています。僕がサッカーをしている姿で枕崎市を盛り上げられるように頑張っていきたいと思っています」と力強く話しました。



**火の神乙女太鼓爽が全国大会10位入賞**  
 ~第20回日本太鼓ジュニアコンクール

第20回日本太鼓ジュニアコンクール(全国大会)が3月25日、金沢市で開催され「火の神乙女太鼓 爽」が10位入賞を果たしました。火の神乙女太鼓爽は23番目に出場し、「ハネウマ」を演奏。持ち前の息の合った迫力ある演奏を披露し、会場を沸かせていました。リーダーの平田理子さんは「これまでやってきた想いやメンバー全員との絆、たくさんの方々への『ありがとう』の気持ちを持って舞台に立ち演奏しました。自分を含め全員が『楽しかった』と思える演奏ができたことがいちばんうれしかったです。たくさんの応援をありがとうございました」と話していました。



中川路芽衣さん



籠原みくさん

**中川路さんが最優秀賞、籠原さんが優秀賞を受賞**  
 ~平成29年度土砂災害防止に関する絵画コンクール

土砂災害防止月間にあわせて国土交通省が募集する、平成29年度土砂災害防止に関する絵画コンクールで、中川路芽衣さん(桜山小5年)の作品が鹿児島県知事表彰最優秀賞、籠原みくさん(桜山中1年)の作品が同表彰優秀賞を受賞しました。中川路さんは、4年連続での同賞の受賞となりました。

中川路さんは「土砂災害が起きて、家族で助け合いながら逃げる様子を描きました。今年も受賞することができてうれしいです」と話し、籠原さんは「災害時に家族で協力しながら逃げる様子を描きました。災害の時は早く逃げるのが大事だということを知りたいと思いました」と話してくれました。